

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 5.市民力・地域力の活性化

(基本施策) (1)自立した地域まちづくり活動の促進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

基本施策が目指す姿

市民が、地域まちづくり協議会の活動を通して、地域の課題解決に向かい、自立した地域づくりに取り組んでいます。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	地域まちづくり計画に基づき事業を展開する地域まちづくり協議会の数	協議会	3	H27	12	22				22
2	地域活動拠点施設の利用者数	人	142,213	H27	136,401	144,968				150,000
3	ホームページにより情報発信している地域まちづくり協議会の数	協議会	8	H28	15	18				22
4										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 身近な地域住民同士の活動が活発に行われている	重要度	0.82	0.69	取り上げた2つの項目では、前回調査よりほぼ下降した結果となっているが、その一方で、同じ市民アンケートにおける地域まちづくり協議会に対する認知度では73.9%と、前回より11.7ポイント上昇している。昨年度、市内のすべての地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたため、今後、それぞれの地域の特性に応じた活動が活発に展開されるよう支援を続ける必要がある。
	満足度	0.11	0.28	
2 地域の個性が尊重されている	重要度	0.69	0.60	
	満足度	0.37	0.36	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	市内すべての地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたことから、市としても計画に基づく活動を支援するとともに、地域予算制度による財政的な支援を行い、地域が主体となったまちづくりを促進することができた。地域まちづくり推進アドバイザー派遣の件数が4地区と想定よりも少なかったものの、地域まちづくり協議会連絡会議と連携して地域担い手研修を6回開催したり、地域まちづくり協議会間や市民活動団体との交流を目的とした地域まちづくり交流祭を新たに開催することができた。また、基本施策の推進のために設定している成果指標もすべて上昇しており、自立した地域づくりに向けて着実に進んでいることから、総合判定をAとした。
反省点・課題	
それぞれの地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたことから、今後は地域の特性に応じたより活発で主体的な地域まちづくり活動が展開されるよう、人材の育成を進めるとともに、地域まちづくり協議会が市の支援制度を有効に活用していただけるよう、地域担当職員を中心に更なる周知に取り組む必要がある。	

今後の展開方針

地域担当職員制度については、これまでの各地域まちづくり協議会に職員1名を兼務で配置してきた体制から、まちづくり協働課職員が複数の地域まちづくり協議会を専任として担当する体制に見直し、より専門的で厚みのある支援体制とする。また、自立した地域まちづくり活動の促進に向けて、引き続き、担い手の発掘・育成を目的とした研修を行うとともに、地域まちづくり協議会へのアドバイザー派遣や地域予算制度による財政的な支援等を行い、それぞれの地域まちづくり計画に基づいた主体的な活動が市全域で展開されるよう取り組んでいく。
--

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 地域まちづくり活動の活性化						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
A	活動	地域まちづくり推進アドバイザーを4地区に延べ5人派遣した。地域まちづくり交付金を22地区に21,646千円を交付した。地域活性化支援事業補助金を8地区に交付した。地域まちづくり協議会のホームページ作成の研修会を開催した。	評価	市内22地区すべてにおいて地域まちづくり計画が策定された。各地域まちづくり協議会において地域特性に応じた活動が展開された。18地区の地域まちづくり協議会においてホームページを通して情報発信が行われた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業	主	25,950 / 25,240	A	A
	2044	自治会支援事業	標	4,640 / 4,378	A	B
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費	標	83,145 / 80,373	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 地域まちづくり活動拠点施設の充実						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	東部地区コミュニティセンターの公共下水道接続工事や野村地区コミュニティセンターの男子トイレ洋式化工事、本町地区コミュニティセンターの空調機更新工事など、各施設の工事や修繕を行った。	評価	トイレの洋式化や空調機の更新を行うことで、利用者の利便性の向上に繋げることができた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費	標	83,145 / 80,373	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 地域まちづくり協議会の組織強化						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
A	活動	地域担い手研修を6回開催し延べ144人が参加した。地域まちづくり交流祭を地域まちづくり協議会連絡会議と協働で開催し約600人が参加した。地域担当職員が地域まちづくり協議会の定例会議等に出席し助言や情報の提供を行った。推進チーム会議を12回開催し情報の共有を図った。	評価	地域担い手研修では楽しいまちづくりの手法(サロン)を学び、受講生でサロンを開催した。地域まちづくり交流祭では、地域まちづくり協議会相互の交流や地域まちづくり協議会の活動を広く周知することができた。推進チーム会議で各地域まちづくり協議会の課題を共有しその解決案を各地域まちづくり協議会に反映することで、地域まちづくり協議会の運営支援に繋げることができた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業	主	25,950 / 25,240	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 地域まちづくり協議会との連携強化						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】
B	活動	亀山市地域まちづくり推進会議を設置し、地域まちづくり協議会を中心とした地域と行政が連携協働し地域力を生かしたまちづくりを推進するための議論を行った。地域まちづくり協議会連絡会議の事務局支援を行った。	評価	地域まちづくり協議会と行政との協働を進める上で、地域担当職員を兼務体制からまちづくり協働課職員による専任制へと見直した。地域まちづくり協議会の窓口となることで、地域まちづくり協議会と行政各部署との調整を図る体制づくりを進めた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
		地域まちづくり推進会議による検討			B	B